

令和6年12月20日
教育局高校教育課

報道関係者各位

**「第72回統計グラフ全国コンクール」における総務大臣賞受賞に伴う
致道館中学校による教育長訪問について**

「第74回山形県統計グラフコンクール」において県知事賞を受賞した作品が「第72回統計グラフ全国コンクール」において、総務大臣賞を受賞しました。

この度、下記のとおり生徒が訪問することになりましたので、当日の取材についてよろしくお願ひします。

記

1 期 日 令和6年12月26日（木） 午後2時から午後2時20分まで

2 場 所 山形県庁 13階 教育長室

3 訪問者 県立致道館中学校
1年 柳沢 さくら（やなぎさわ さくら）

4 訪問のポイント
記録に残る平成25年以降、山形県からは初の受賞である。

5 同行者
教頭 佐々木 剛（ささき たけし）

6 対応者
教育長 高橋 広樹
教育次長 米野 和徳
高校教育課長 伊藤 久敏

7 内容（予定）
（1）訪問者紹介
（2）受賞報告・懇談
（3）記念写真撮影

8 その他
・「第72回統計グラフ全国コンクール」における総務大臣賞受賞の概要については別紙を御参照下さい。
・取材の際は、高校教育課（13階）で受付手続きをお願いします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【本件問合せ先】
县教育局高校教育課
課長補佐 黒木 晃
TEL 023-630-3106
報道監 教育局長 庄司 雅人

「第72回統計グラフ全国コンクール」における総務大臣賞受賞について

1 統計グラフ全国コンクールについて

(1) 概要

統計の普及と統計の表現技術の研鑽を図るため、全国の小学生、中学生、高校生等を対象に統計グラフを募集したものである。全6部に全国から19,409作品の応募があり、応募した第4部（中学生の作品、7,745作品の応募）の特選（各部門の1位）に選出された。全6部の特選のうちから、特に優秀な作品として認められ、最優秀作品賞にあたる特選総務大臣賞を受賞した。

(2) 応募部門

第1部（小学1・2年生の作品）、第2部（小学3・4年生の作品）

第3部（小学5・6年生の作品）、第4部（中学生の作品）

第5部（小中学生のパソコン統計グラフの作品）

第6部（高校生以上の作品、手書き・パソコンの利用は問わない）

*第1部～第4部は、グラフ部分をパソコンで作成した作品は含まない。

(3) 課題

課題は各部とも自由である。

(4) 主催

公益財団法人 統計情報研究開発センター

(5) 後援

総務省、文部科学省、全国統計教育研究協議会、NHK

一般社団法人 日本統計学会、一般社団法人 日本品質管理学会

2 総務大臣受賞作品について

(1) 作品名 「1点をつないで ～サーブはどこに打つとより得点につながるのか～」

(2) 作成者 県立致道館中学校 1年 柳沢 さくら さん

(3) 内容 自身が取り組む部活動のバドミントンに関して、サーブの打ち込み場所によって得点へのつながりがどうかかわるのか、自分たちの中学校総合体育大会とオリンピックの試合を比較・分析した作品